



行こう、
献血!

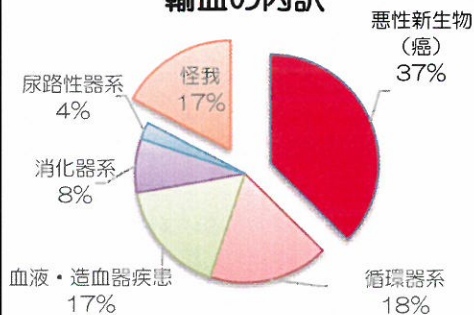
東京都赤十字血液センター

赤十字のマスコット
ハートちゃん

11/5 (土)
M207教室にて
10:30~11:20
12:40~16:00

輸血治療、最前線!

輸血の内訳



輸血の内訳はご存じでしょうか?

事故などの怪我よりも、病気治療に多く使われています。その1位は癌! 日本人の2人に1人が患ってしまうと言う、やっかいな病気です。癌治療では、抗がん剤や放射線治療で失った血球回復のために使用されることもあります。

輸血後に献血は出来ません。その役割に気づいた後は手遅れです。ぜひ、ご理解いただき、したことないと言う方も、献血にTRYしてください!

献血 3大注意事項

① 服薬について

~但し医師の判断(症状等)により当日の献血ができない場合がございます~

会場がよく聞かれる、 当日もOKなお薬一覧	会場がよく聞かれる、 前日までならOKなお薬一覧
降圧剤、漢方薬、胃薬、目薬、点鼻薬、抗アレルギー剤(花粉症対策薬など)、低容量ピル、高脂血症治療薬、降コレステロール、サプリメント …等々	市販の風邪薬、消炎鎮痛剤、高尿酸血症治療薬、内服用筋弛緩剤、睡眠薬、抗不安剤、前立腺肥大治療薬、…等々

② 海外渡航について

- a: 帰国後4週間以内は、どこの国だとしても献血がお願いできません。(→未知のウイルス等、患者さんへの為の予防策です。)
- b: 1980~1996年までにイギリスに通算31日以上滞在歴のある方はお願いできません。
- c: 1980~2004年までにヨーロッパ・サウジアラビアに通算6カ月の滞在歴がある方は献血がお願いできません。

③ その他

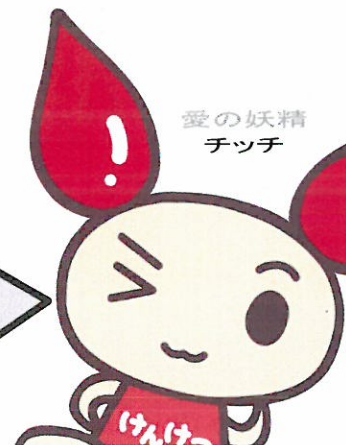
直近2食のお食事とられていない方は献血がお願いできません。(→皆さんが気分不良になりやすくなるというデータが出ている為です。)

歯科治療後、72時間空かないと献血できない可能性が出てしまいます。出張献血会に参加いただく為にも、4日以上前か献血後に行っていただくと幸いです。

ご協力必要人数

60名様

初めての方、お久しぶりの方も
この機会に是非!



献血で分かる！健康チェック★

生化学検査	
ALT (GPT) 5~45 (IU/L)	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も多く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝(肥満)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。
γ-GTP 10~65 (IU/L)	肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコール性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1カ月くらい禁酒するとある程度正常化します。
TP (総蛋白) 6.5~8.2 (g/dL)	血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。
ALB (アルブミン) 3.9~5.0 (g/dL)	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。
A/G (アルブミン対グロブリン比) 1.2~2.0	血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。
CHOL (コレステロール) 110~250 (mg/dL)	血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。
GA (グリコアルブミン) 16.5%未満	糖尿病の検査の一つです。過去2週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。糖尿病では標準値より上昇します。標準値範囲内でも、15.6%以上の場合は注意が必要です。
注目! 隠れ糖尿病対策になります!	
血球計数検査項目	
RBC (赤血球数) ♂: 425万~570万(μL) ♀: 375万~500万(μL)	♀375万~500万(μL) 赤血球は血液の主な細胞成分で、酸素を肺から各組織に運ぶ働きを持っています。
Hb (ヘモグロビン量) ♂: 13.3~17.4 (g/dL) ♀: 11.2~14.9 (g/dL)	血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(血色素)によるもので、赤血球の働きを中心となっています。
Ht (ハマトクリット量) ♂: 39.0~50.4(%) ♀: 34.0~44.0(%)	ハマトクリット値は、一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものです。
MCV (平均赤血球容積) 80.0~100.0(fL)	赤血球1個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とハマトクリット値から算出したものです。
MCH (平均赤血球ヘモグロビン量) 26.0~34.0(pg)	赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。
MCHC (平均赤血球ヘモグロビン濃度) 32.0~36.0(%)	赤血球の一定容積に対するヘモグロビン量の比をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とハマトクリット値から算出したものです。
WBC (白血球数) 3500~10000(μL)	白血球は細菌などを貪食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっています。細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。
PLT (血小板数) 14万~38万(μL)	血小板は出血を止めるための重要な働きを持ち、この値が極端に減少すると出血を起こしやすくなります。

より安全で、負担の少ない輸血治療を



献血してくださる皆様へ
患者さんからのお願い...

皆さん一人一人の血液は、血液型が同じでも微妙に違ってきます。この為、複数の献血者からの血液を合わせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用(発熱、発疹など)の発生可能性が高くなります。

その為、現在は400mL献血を各献血会場でお願いしております。これは1回の輸血で使う血液本数を減らすのが主な目的です。

例) 輸血が2,000mL必要な患者さんの場合
400mL献血だと・・・5人。
200mL献血だと・・・10人。

→この場合200mL血液だと、2倍の危険性が患者さんに伴います。

なので、400mL血液を病院は必要としています!

☆でも不安だと思われる方に、こんな見方をしていただきたい!☆

人が一日にかく汗の量は約1,000ml。血液もほとんどが水分ですので、400mLは決して多くないと、ご理解いただけるでしょうか? その為、献血の前後に、水分摂取用の飲み物をお渡ししております。

献血受付票 ※献血カードが無い方はこちらの用紙のご記入をお願いします。

フリガナ				旧姓			
氏名							
生年月日・性別	S・H	年	月	日(歳)	男・女	血液型	型
郵便番号 住所	〒 -			自宅電話	-	-	
				携帯電話	-	-	
職業	①公務員 ②会社員 ③高校生(年生) ④大学生(年生) ⑤その他学生(年生) ⑦主婦 ⑧自営業 ⑨その他						
身長	cm		体重	kg			
献血前に食事をとられた時刻	時頃	直近の睡眠時間	約	時間			
検査サービス(血液型・肝機能他)通知を希望されますか。						はい・いいえ	
B型・C型肝炎検査、梅毒検査、成人T細胞白血病抗体検査に異常があれば通知を希望されますか。						はい・いいえ	
血液センターからの献血協力依頼に応じていただけますか。						はい・いいえ	
前回献血	約	年前	200mL・400mL・PC・PPP	初回			
備考			本人確認	済(1・2・3)・不携帯			